

2月に引き続き

早生品種でべと病が発生している
圃場が確認されています

たまねぎのべと病が発生しています！



発生予報

気温が高く、降雨が続く場合は
被害がまん延するおそれがあります

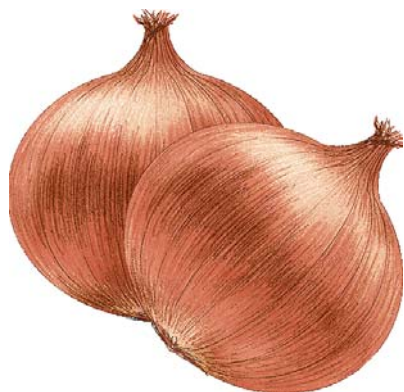
発病前の予防散布がポイントです！

耕種的防除

発病残渣は伝染源になりますので、速やかに取り除いて処分しましょう

化学的防除

発病を確認した圃場では、
フロポーズ顆粒など治療効果の高い農薬で防除しましょう



たまねぎ べと病

主なたまねぎ べと病剤

平成23年3月2日現在

薬剤の系統名	薬剤名	予防効果	治療効果	希釈倍数	使用時期 (収穫前日数)	本剤の 使用回数	有効成分の 総使用回数
有機塩素+アミノ酸 アミドカーバメート	フロポーズ顆粒水和剤	○	◎	1000倍	7日前	3回以内	ベンチアバリカルブイソフ ロピル:3回以内、 TPN:6回以内
フェニルアミド+有機 硫黄	リドミルMZ水和剤	○	○	500~750倍	7日前	3回以内	マンゼブ:5回以内、 タラキシル:4回以内 ※
シアアセアミド+オキ サゾリジンジオン	ホライズンドライフロブル	○	○	2500倍	3日前	3回以内	シモキサニル:3回、 ファモキサトニ:3回以内
有機硫黄	ジマンダイセン水和剤	○	×	400~600倍	3日前	5回以内	5回以内
有機塩素	ダコニール1000	○	×	1000倍	7日前	6回以内	6回以内

※タラキシル:4回以内(種子粉衣は1回以内、播種後は3回以内)

薬剤感受性低下を避けるため、同一系統薬剤の連用はさげましょう
農薬の使用にあたっては、ラベルの表示事項を守りましょう